

音楽科の学習について（第1学年）

1 音楽科において育成を目指す資質・能力

- 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性についての理解と、表したい音楽表現や創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を養う。
- 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる力を養う。
- 音楽活動の楽しさを工夫することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度と豊かな情操を培う。

2 学習計画

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none">• 響きのある声でのびのびと歌おう。• 伴奏のリズムやハーモニーを感じ取って演奏しよう。• 曲の構成に気づいて表現を工夫しよう。• 言葉を生かして表現しよう。• 情景と音楽を結び付けて味わおう。	<ul style="list-style-type: none">• 混声合唱の響きを楽しもう (合唱コンクールにむけて)クラス曲学年合唱曲全校合唱曲• 弦楽器を体験しよう• 日本の伝統音楽の魅力を感じ取ろう。	<ul style="list-style-type: none">• 楽器の音色を味わいながらギターを演奏しよう。• 民謡や芸能の魅力を味わおう。• 卒業式に向けて気持ちを込めて合唱しよう。 (全体合唱曲)

3 評価の観点 評価の資料

観 点	内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none">• 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。• 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 (発言・ペーパーテスト・実技テスト)
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">• 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 (発言・プリント、ペーパーテスト)
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">• 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (実技テスト・授業中の発言・プリント)